

備前市事務事業評価表

事務事業名	特別保育事業	コード	02-01-01-01
		担当課・係	福祉事務所子育て支援係
		担当者	周藤和美
事業実施期間	平成12年～		
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	健康でやさしさあふれるまちづくり	
	中項目(基本施策)	やさしさあふれるまちづくり	
	小項目(施策)	子育て支援	

事業について	
目的 (何のために)	保護者の就労形態の多様化による子育ての負担感を緩和し、もって児童福祉の増進を図る。
対象 (誰・何を対象に)	就学前の乳幼児並びに保護者
内容	延長保育：通常保育の開所時間後、延長して保育を行う。 子育て支援センター：子育て家庭（これから子育てを始める家庭を含む。）に対する育児支援を行う。 一時保育：保護者の傷病、看護、介護などにより、緊急、一時的に保育に欠ける児童を預かる。 休日保育：休日等に保護者が勤務等により保育に欠ける児童を預かる。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
子育て支援センター 専任職員延利用人数	1,019 人	1,335 人	
子育て支援センター 担当地数	14 件	25 件	
延長保育利用人数	3,696 人	3,830 人	
一時保育延利用人数	1,722 人	1,668 人	
休日保育延利用人数		84 人	
事業費 (単位：千円)	直接事業費	30	16,238
	間接補助金	6,505	4,075
	人件費	41,866	18,090
	受益者負担	3,843	3,480
	市債		
合計	41,896	31,548	26,773

必要人員	11.70 人	3.25 人	
結果指標名	子育て支援センター園庭開放延利用人数	子育て支援センター園庭開放延利用人数	
結果指標量	1,019	1,335	
単位	人	人	
対前年比	—	131.01%	0.00%
活動にかかるコスト	3,532,000(支援センター事業分のみ) 円	2,824,000(支援センター事業分のみ) 円	
単位当たりコスト	3,466 円	2,115 円	
結果指標名	子育て支援センター実施か所数	子育て支援センター実施か所数	
結果指標量	1	1	
単位	か所	か所	
対前年比	—	100.00%	0.00%
活動にかかるコスト	3,532,000(支援センター事業分のみ) 円	2,824,000(支援センター事業分のみ) 円	
単位当たりコスト	3,532,000(支援センター事業分のみ) 円	2,824,000(支援センター事業分のみ) 円	

事業の成果			
どのような成果を得ようとしているか	子育てに関する相談・援助等、家庭の育児支援を行うことにより、子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを促進する。		
成果指標名	子育て支援センター園庭開放延利用人数		
	式又は説明		
	延利用人数		
	17年度	18年度	
成果指標量	1,019	1,335	
対前年比	—	131.01%	0.00%
到達目標値	1,600	到達目標年度	平成21年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標とある成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等： 児童福祉法
	対象の妥当性	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である
	市民ニーズの妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
効率性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input checked="" type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
有効性の評価	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている
市民参画度		就業形態や家族形態が変化する中で、多様なニーズに応じた特別保育の実施により、子育てと仕事の両立支援や保護者の子育ての不安感を緩和し、子育てをしやすい環境づくりを推進していくことは市の重要課題であり、妥当な事業である。
		効率性評価<A~E> B
		課題認識
		有効性評価<A~E> B
		課題認識
		市民参画度
		今後ますます特別保育の需要が高まることが予想されるが、市民ニーズを把握し、ニーズにあった施策を実施することで市民の満足度が増すものと考えられる。

平成19年度の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 重点化している <input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明	18年度より実施の休日保育事業を継続して実施する。また、三石幼稚園で就学前の児童を対象に行う子育て広場において定期的な出前保育の実施やマイ保育園サポート事業の実施について検討する。
目標値	結果指標量 1335人	結果指標量	1箇所
	成果指標量 1400人		

総合評価	少子化や地域社会のつながりの希薄化、就業形態の多様化に伴い今後ますます多様な特別保育の実施ニーズの高まりが予想される。身近な地域で安心して子育てができる環境づくりは重要な課題であり、次世代育成行動計画に沿って、地域のバランスや市民ニーズを把握しながら事業の拡充を検討する必要がある。	評価区分<A~E> B
------	---	-------------

平成20年度以降の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する	平成19年度で廃止・完了
--------------	---	--------------

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	子育て支援センター事業を現在は1か所実施しているが、地域の実情に合わせ次世代育成行動計画で目標としている4か所に近づける。	平成22年度	より多くの人に利用してもらうことで、子育てに伴う負担感を軽減し、子育てしやすい環境づくりを促進できる。